

世界蚊の日



いきなりですが、クイズをひとつ。毎年、最も多くの人間を殺す生き物は何か？

今新型コロナウイルスや熱中症などがニュースで騒がれていますが、正解は蚊だそうです。

この季節、うるさく飛び回り、病原体を媒介する。感染症の制圧に尽力しているビル・ゲイツさんによると、83万人もの命を奪っているという。ちなみに2番目が人間で、3番目がヘビだそうです。

天敵をたたえるわけではなかろうが、8月20日が「世界蚊の日」。英国の医師、ロナルド・ロス博士が1897年、メスのハマダラカに刺されるとマラリヤに感染することを発見した日に因みます。それから1世紀超、マラリヤは人類を脅かし続けてきた。今もアフリカでは新型コロナによる死者を遥かに上回る犠牲者が出ている。希望の芽は進展がめざましい遺伝子工学にある。蚊に不妊になる遺伝子を組み込んで野外に放つ。何代にもわたって、この遺伝子が受け継がれ、結果、蚊の集団が撲滅していくというシナリオです。海外でいくつかの研究チームが実験に成功した。実地試験の計画もあるようです。将来、蚊がいなくなる日も、夢物語ではない。

もちろん「組み換え蚊」を自然界に放出して大丈夫かという疑問もわきます。嫌われ者だから絶滅しても良いという論法も気になる。蚊の専門家は生態系への影響は心配ないという。最新テクノロジーに危うさはつきもの。期待が膨らむのは、世界がコロナ対策にこずっているからか。それとも技術への過信でしょうか。

都商会 鎌野



今年の夏は・・・

今年は、これでもかと梅雨の時期に雨が降り、もう梅雨というよりは熱帯モンスーン気候の雨季でしょう。

あれだけ毎日雨が降れば、雨季に違いない！既に気候変動により日本は、四季のある温帯から熱帯になってしまったのかも知れません。これから先も地球温暖化はどんどん進みますから、来年もきっと今年と同じ様に毎日雨が降る気がします。

そして、雨が上がったかと思えば猛暑！浜松でなんと41.1℃を記録。もう日中働くより、スペインなどを見習ってシエスタ（昼寝、長い昼休み）を取って、夕方涼しくなってから働く方が効率もいいし、健康にもいいでしょう。そういう時代がすぐそこまで来てますね。我々ふくよかな体の者にとっては、本当に命に係わる様な暑さです。

御殿場は、さすがに朝夕は少し涼しくなってきましたが、あと少し頑張って、生きてこの夏を乗り切りたいです。

英樹

星に願いを!!



灼熱の日々。日常的に起きる災害。パンデミック。文明発展のその裏で着々と進んでいた。そして、この巨大な文明に対してのイノベーションは、世界中の知性も途方に暮れています。人間の一生と同様にこの地球にも、いつか終わりが訪れることは明白の事実であることを知ります。

地球の先輩なのか、後輩なのか知らねども、夜空のお星さまにお願い。

ヒトは自らの終焉をゆるやかに迎えることが願いならば、この地球のそれもゆるやかに、あまり苦しまずにと。私共にできることはいたしますから。目先で言うならば、レジ袋の有料化等になりますが。

栗原



配り

第 255 便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地



夏バテをせぬように沢山食べてねと

孫からほんにやさしい文くる

林 なをみ



のびのびと蚯蚓伸びたる水溜り

長雨ついに干る間も無けれ

勝亦 りつ子



黒富士山

8月の天文ショーにペルセウス座流星群というものがありました。日本では「しぶんぎ座流星群」「ふたご座流星群」と並び三大流星群と呼ばれ、毎年同じ時期に安定して見られる流星群です。ペルセウス座流星群は極大日という最も流星の頻発する時から、比較的、前後長い期間観ることが出来ます。今年の極大は8/12の22時頃。ちょうどお盆休みと重なるので夜間の観測も気軽にできます。流星の観測にはなるべく空が暗いことが好条件になります。ですから月の出ていない時間、街の明かりの影響の少ない場所での観測がベストです。天候も重要です。今年は雲を避けながら水ヶ塚公園や山中湖、田貫湖などに夜な夜な流星観測に出向きました。標高が高いので涼しく快適なのも良いですね。広場に寝転がりポーっと夜空を眺めて流星に想いを馳せる。時折びっくりするくらい明るく長い流星も観測しました。願い事を3回唱えられたんじゃないかって位のものもありました。まあ、とっさに三回っていうのはやっぱり出来ないんですけどね。もちろん写真撮影も同時進行です。カメラを富士山の上空に向け、夜の富士山と流星を同時に収めてしまおうという訳です。ところがここで例年と違う違和感が。8月と言えば夏山シーズン。例年ならば登山道を往くヘッドライトの灯りの列が山頂まで続き、星空に浮かぶ富士山を彩るのです。ところが今年はコロナ感染症予防の為開山していません。毎年収められている夜の富士山と登山者の灯り、そして山頂にかかる流星、という定番であり、かつ写真好きならば誰もが撮りたいと願う一枚を誰も撮ることが出来ません。

来年はまた、今までの灯りの列を撮ることが出来るでしょうか。三回唱えることは出来ませんでしたけどコロナ終息を星に願って過ごしたお盆休みの夜だったのでした。

柳田 敏和



2020.8.14 未明 水ヶ塚公園にて



水辺

朝晩と秋の気配が感じられるこの頃ですが、日中はともかく暑い！「あつっついですね」と挨拶をする他にない。先日、その暑いさなか、水辺に行きたくて三島の楽寿園と源兵衛川に行ってきました。楽寿園の小浜池の水が過去最高の水位とニュースで言っていたので、行くと、確かに！もう溢れんばかりの水です。池の縁には土で育つ草が水没していました。堰き止めて調整していますが川に流れる水量が多いのでドドドと音がします。へえ〜って少し感動。源兵衛川もやはり水量が多い。川を目指すのに歩いていると民家の奥から樋をしいて水がとうとうと流れていました。そこに住んでいる人がたまたまいらして、「家の奥に井戸があってね溢れ出るのよ！お嫁に来て50ウン年。初めてよ！涼しいけどね。あちらこちらで道から水が湧き出ているでしょ」と教えてくれました。源兵衛川の水辺は人で溢れ、子供は橋から飛び込んで遊び、三密どころの騒ぎではありません。やはり、水辺に行こうと思うのは皆さん同じです。

車は駅前の駐車場に置いて歩いて行ったのですが、熱すぎて帰りに車までたどり着けるだろうか・・・車のタイヤ近くにある温度計は50度！！これは、殺人的だ。汗が拭っても拭っても滴り落ちる。風が熱風だ。水辺にいった爽やかな気分になりたかったのに・・・

もう少しの辛抱？だとしよう。

ねがみ

緑のカーテン

まだまだ野菜の高値が続いていますね。ジワジワ家計に響き困ったものです。我が家では、毎年、日除けの為、緑のカーテンをベランダに設置しています。お花も良いけど、折角ならば食べられる物…ゴーヤや四角豆、ミニトマト、ツルムラサキ、根元の空いたスペースにはミニレタスやバジルを育てています。プランターなので地植えに比べると収穫量は多くありませんが、おかずの一品になり毎年楽しみに育てています。しかし、今年は梅雨時の大雨、長雨に葉や実を叩き落とされたり、溶けてしまいました。8月も終わりになり、ようやくゴーヤの葉も日除け程度に復活しましたが、実が大きくなりません。毎年どうやって食べきったらよいかと悩むほど採れるゴーヤ。今年は食べられないまま終わりそうです。



祥子